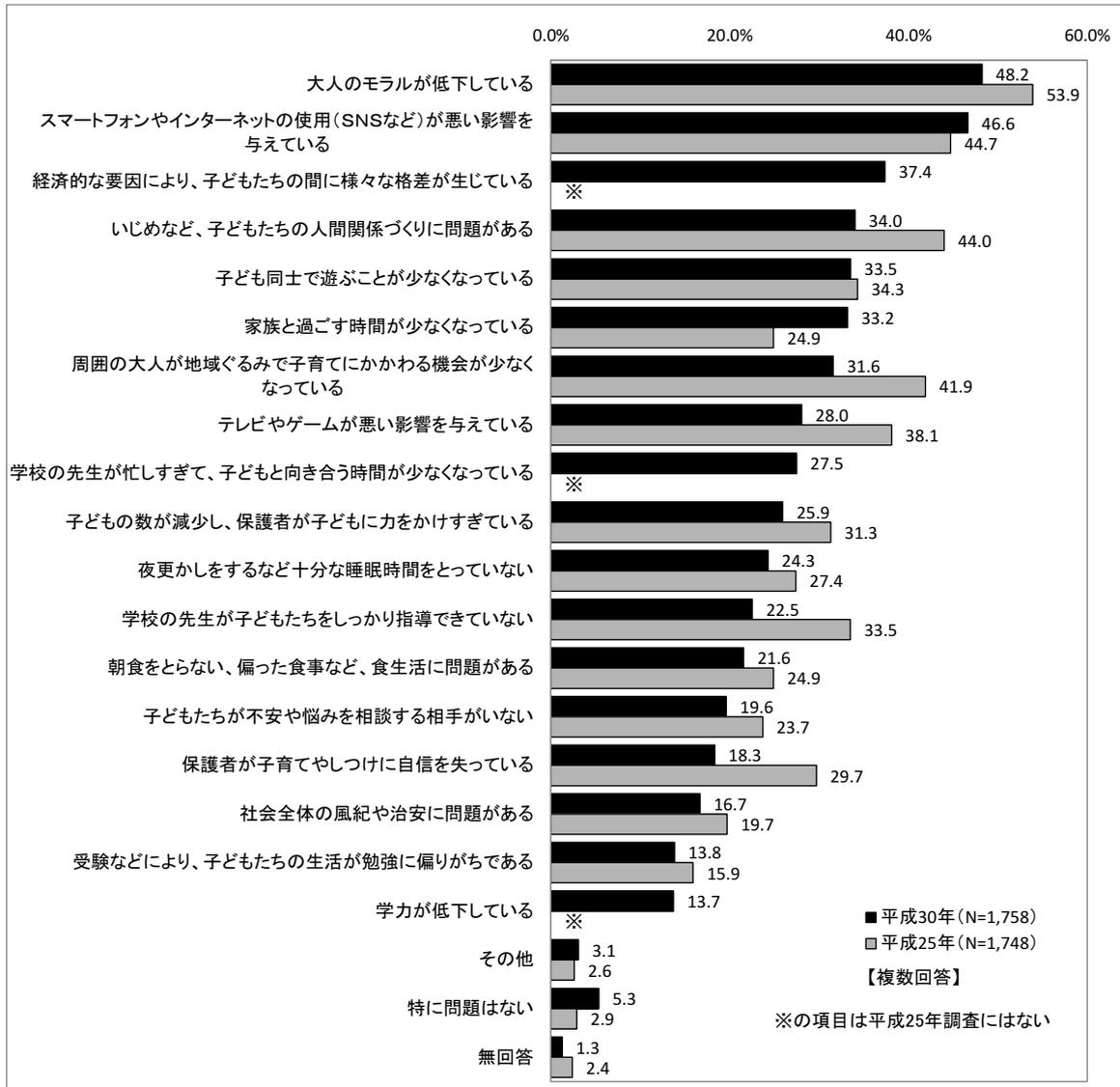


第6章 教育

6-1 子どもをとりまく環境の問題点

問 32 いまの子どもたちをとりまく環境で、問題になっていると思うのはどのようなことですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)
(ここで「子ども」とは、小・中学生をイメージしてお答えください。)



● 子どもをとりまく環境の問題点では「大人のモラルが低下している」が48.2%。

◆属性別特徴

【性別】「家族と過ごす時間が少なくなっている」「夜更かしをするなど十分な睡眠時間をとっていない」「朝食をとらない、偏った食事など、食生活に問題がある」「経済的な要因により、子どもたちの間に様々な格差が生じている」などの割合は男性より女性で高く、男性は「学校の先生が子どもたちをしっかりと指導できていない」「保護者が子育てやしつけに自信を失っている」が女性に比べて高い。

【年齢別】「大人のモラルが低下している」は30～50歳代で5割以上と高い。

「スマートフォンやインターネットの使用（SNSなど）が悪い影響を与えている」は18～29歳、50歳代で高い。

「子ども同士で遊ぶことが少なくなっている」は年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向にある。

【ブロック別】「大人のモラルが低下している」は、北部Aで高い。

「経済的な要因により、子どもたちの間に様々な格差が生じている」は北部A、中央部、南西部で4割を超え高い。

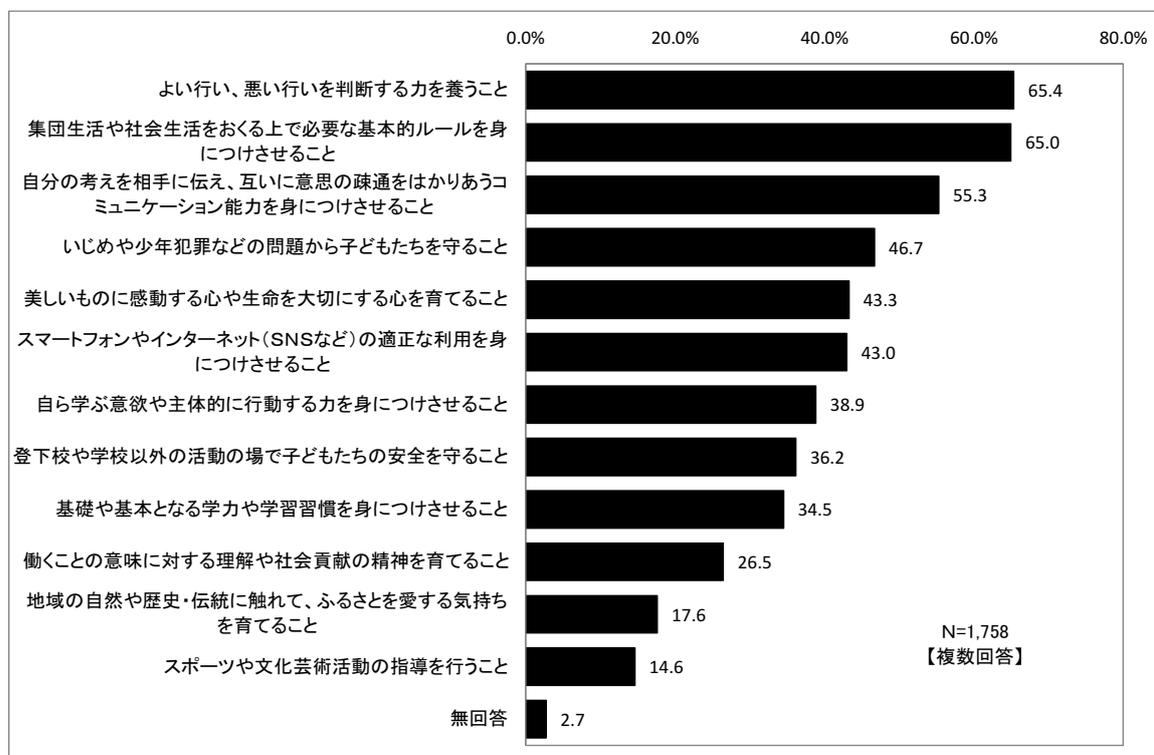
【同居家族別】「学校の先生が子どもたちをしっかりと指導できていない」「学校の先生が忙しすぎて、子どもと向き合う時間が少なくなっている」や「テレビやゲームが悪い影響を与えている」「夜更かしをするなど十分な睡眠時間をとっていない」「スマートフォンやインターネットの使用（SNSなど）が悪い影響を与えている」は中学生と就学前・小学生・中学生以外の18歳未満の子どもがいる世帯で高い。

「家族と過ごす時間が少なくなっている」は就学前、小学生がいる世帯で高い。

	標本数（票）	子どもをとりまく環境の問題点（%）																					
		保護者が子育てやしつけに自信を失っている	子どもの数が減少し、保護者が子どもに力をかけすぎている	家族と過ごす時間が少なくなっている	経済的な要因により、子どもたちの間に様々な格差が生じている	学校の先生が子どもたちをしっかりと指導できていない	学校の先生が忙しすぎて、子どもと向き合う時間が少なくなっている	子ども同士で遊ぶことが少なくなっている	子どもたちが不安や悩みを相談する相手がいない	いじめなど、子どもたちの人間関係に関する問題がある	テレビやゲームが悪い影響を与えている	スマートフォンやインターネットの使用（SNSなど）が悪い影響を与えている	学力が低下している	受験などにより、子どもたちの生活が勉強に偏りがちである	朝食をとらない、偏った食事など、食生活に問題がある	夜更かしをするなど十分な睡眠時間をとっていない	社会全体の風紀や治安に問題がある	大人のモラルが低下している	周囲の大人が地域ぐるみで子育てにかかわる機会が少なくなっている	その他	特に問題はない	無回答	
全体	1,758	18.3	25.9	33.2	37.4	22.5	27.5	33.5	19.6	34.0	28.0	46.6	13.7	13.8	21.6	24.3	16.7	48.2	31.6	3.1	5.3	1.3	
性別	男性	755	21.9	24.4	29.3	33.8	26.5	28.1	33.6	19.3	32.8	29.0	45.7	14.4	14.8	17.9	20.7	18.7	50.9	29.7	3.7	6.0	1.1
	女性	984	15.4	27.6	35.8	39.8	19.7	27.0	33.6	19.4	35.0	27.5	47.9	13.1	12.8	24.2	27.0	14.9	46.0	33.0	2.5	4.9	1.4
	回答しない	15	13.3	0.0	60.0	46.7	13.3	33.3	26.7	46.7	40.0	20.0	26.7	13.3	26.7	33.3	33.3	26.7	66.7	26.7	6.7	6.7	0.0
年齢別	18～29歳	214	13.1	21.5	37.9	39.7	17.8	23.4	19.2	22.4	37.9	21.5	51.4	10.3	9.3	28.0	27.6	15.4	39.7	29.4	1.9	7.9	1.4
	30歳代	271	14.0	20.3	35.1	38.0	22.9	25.1	22.1	18.1	29.5	19.6	45.8	15.5	12.9	21.4	25.5	19.6	53.9	33.2	3.3	5.5	1.8
	40歳代	318	16.7	26.7	33.3	39.0	28.3	28.6	31.4	17.6	29.9	27.4	47.8	21.1	12.9	15.4	28.6	15.4	50.3	28.9	3.5	3.8	0.6
	50歳代	332	21.7	29.2	31.6	40.7	24.7	35.5	35.5	24.1	44.9	30.7	55.4	16.9	16.0	25.0	28.3	17.2	57.2	34.3	4.5	4.2	0.9
	60歳代	363	20.7	26.4	33.1	34.4	22.0	27.5	41.9	21.2	35.0	32.0	43.8	8.8	14.6	23.1	20.4	18.7	47.7	33.9	2.8	4.4	0.6
	70歳以上	249	21.7	30.9	29.3	32.1	17.3	22.1	46.6	12.4	25.3	34.9	35.3	8.0	16.5	17.3	15.3	12.9	36.5	28.1	2.0	7.6	2.8
	ブロック別	東部A	128	18.8	25.8	22.7	28.9	18.0	21.9	28.9	15.6	32.8	30.5	45.3	10.2	14.1	17.2	24.2	13.3	40.6	28.1	4.7	6.3
東部B(田主丸)		101	7.9	31.7	37.6	28.7	19.8	25.7	39.6	16.8	31.7	25.7	35.6	11.9	11.9	20.8	19.8	15.8	46.5	37.6	5.0	3.0	1.0
北部A		155	25.2	20.0	29.7	41.9	28.4	25.8	29.7	18.7	30.3	20.6	43.2	16.8	9.7	20.6	21.9	18.1	56.8	28.4	1.9	5.8	0.6
北部B(北野)		106	17.0	34.0	41.5	33.0	23.6	37.7	34.9	18.9	39.6	34.0	47.2	11.3	17.9	20.8	27.4	15.1	40.6	30.2	0.9	5.7	1.9
中央東部		225	18.7	24.4	32.4	37.3	22.2	28.9	28.0	23.1	36.4	28.0	51.1	12.9	17.8	20.0	23.1	19.1	51.1	29.8	4.4	6.2	1.8
南東部		171	19.9	22.2	34.5	31.0	28.7	31.0	38.6	18.1	32.2	24.6	45.0	12.9	12.3	24.6	23.4	17.5	49.7	29.8	2.9	4.1	1.2
中央部		227	19.8	25.1	32.6	46.7	21.6	28.2	32.6	19.4	34.4	30.8	48.0	13.2	15.0	23.3	24.2	18.5	48.0	35.7	1.8	6.2	0.9
中央南部		313	20.4	25.2	36.1	39.3	18.5	26.5	35.5	18.8	35.1	27.2	48.2	14.4	14.4	22.0	24.3	17.6	50.2	32.9	3.5	6.4	1.0
南西部		157	15.9	26.8	38.2	40.8	29.3	26.8	40.1	26.8	33.8	32.5	45.9	15.9	13.4	19.7	29.9	16.6	51.0	39.5	3.2	4.5	1.3
西部A(城島)		72	9.7	40.3	23.6	34.7	15.3	9.7	38.9	18.1	27.8	30.6	47.2	20.8	6.9	34.7	29.2	9.7	34.7	16.7	0.0	6.9	0.0
西部B(三瀬)	98	16.3	21.4	29.6	33.7	21.4	35.7	22.4	17.3	36.7	25.5	50.0	12.2	11.2	16.3	22.4	13.3	45.9	25.5	4.1	1.0	3.1	
同居家族（M）	就学前の子どもがいる	208	11.5	19.7	38.9	38.0	24.0	26.0	30.8	18.8	33.2	27.4	47.6	12.0	13.9	19.2	22.1	19.7	49.0	31.3	3.4	1.9	1.4
	小学生がいる	206	15.5	21.4	40.3	40.3	23.8	24.8	39.3	16.0	27.2	34.0	50.5	19.9	17.0	16.0	24.8	15.5	46.6	35.4	3.4	2.4	1.5
	中学生がいる	152	13.2	22.4	35.5	38.2	28.9	34.9	31.6	15.1	25.0	38.2	61.2	28.3	14.5	18.4	36.8	13.8	43.4	27.0	2.6	2.0	1.3
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	166	15.7	28.3	33.7	36.1	31.3	36.7	30.7	16.3	31.3	30.1	57.2	28.9	15.1	21.7	32.5	12.0	47.0	22.3	3.6	4.2	2.4
	65歳以上の人がいる	658	19.8	29.8	32.7	37.5	22.9	26.7	38.4	19.8	35.4	30.2	45.4	13.5	16.1	22.8	24.5	16.0	51.5	32.1	3.2	3.5	0.9
	障害者手帳所持者がいる(本人含む)以上にあてはまる人はいない	190	21.1	27.9	30.0	35.8	25.3	27.9	31.1	16.3	32.1	24.2	41.6	13.2	18.4	18.9	17.4	15.8	45.8	32.1	1.1	5.3	1.1
569	18.1	25.0	31.5	36.7	20.4	27.9	30.2	20.6	36.0	25.8	46.2	10.2	10.5	22.1	23.4	17.2	48.3	32.2	3.0	8.1	1.1		

6-2 子どもの教育に関して必要な連携や協力

問 33 学校・家庭・地域の連携や協力が、今後ますます必要になるといわれています。
 子どもの教育に関して、そのような連携や協力が必要だと思うのはどのようなことですか。
 (あてはまる番号にいくつでも○印)



●子どもの教育に関して必要な連携や協力では「よい行い、悪い行いを判断する力を養うこと」が65.4%。

◆属性別特徴

【性別】「いじめや少年犯罪などの問題から子どもたちを守ること」「美しいものに感動する心や生命を大切にすることを育てること」などの割合は男性より女性で高く、男性は「スポーツや文化芸術活動の指導を行うこと」「よい行い、悪い行いを判断する力を養うこと」が女性に比べて高い。

【年齢別】「自分の考えを相手に伝え、互いに意思の疎通をはかりあうコミュニケーション能力を身につけさせること」は40歳代で6割以上と高い。

「スマートフォンやインターネット(SNSなど)の適正な利用を身につけさせること」は19~29歳の若い世代で高い。

「集団生活や社会生活をおくる上で必要な基本的ルールを身につけさせること」は年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向にある。

【ブロック別】「集団生活や社会生活をおくる上で必要な基本的ルールを身につけさせること」は、中央東部で高い。

「地域の自然や歴史・伝統に触れて、ふるさとを愛する気持ちを育てること」は東部B(田主丸)、北部B(北野)で高い。

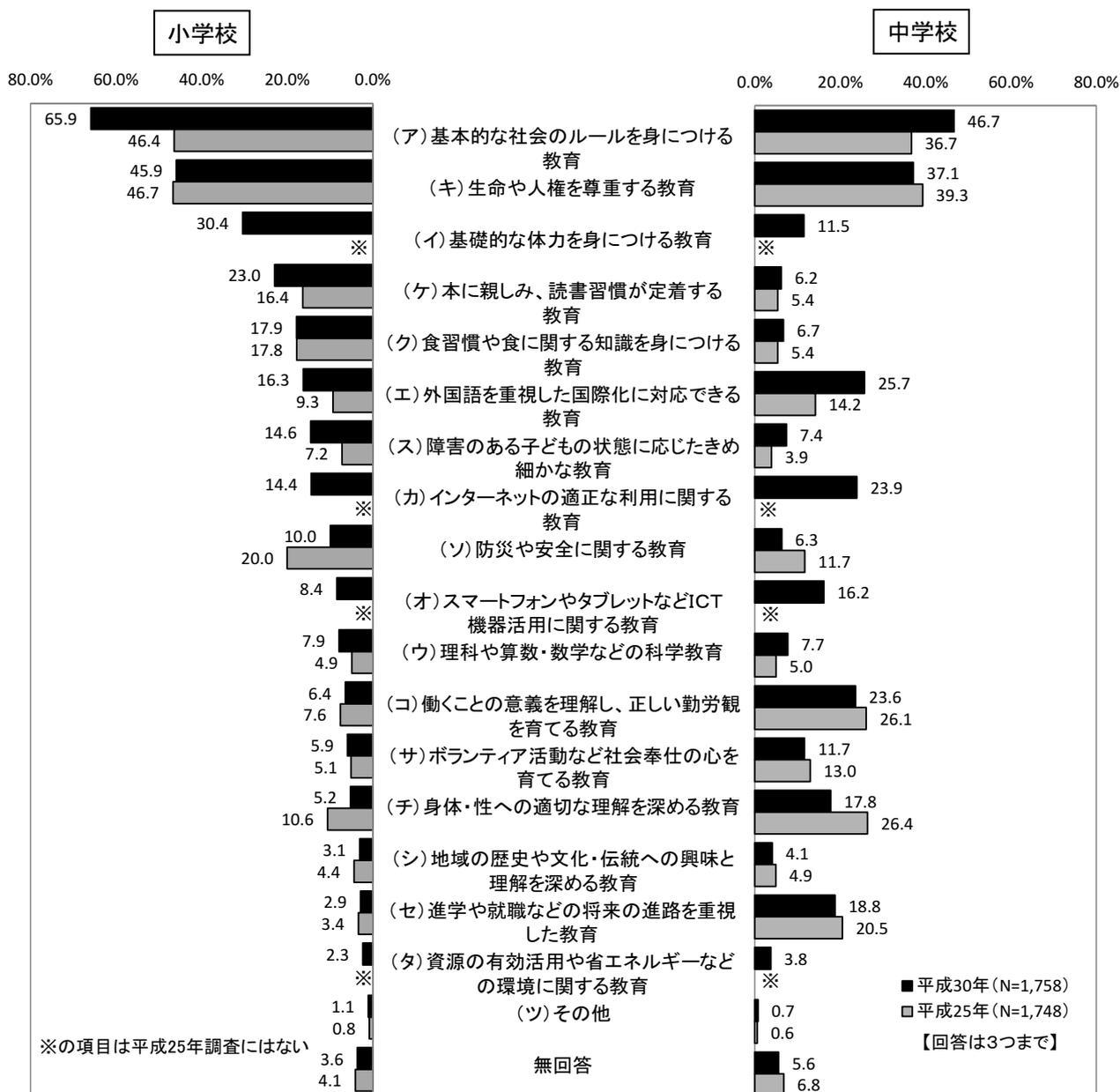
【同居家族別】「スマートフォンやインターネット(SNSなど)の適正な利用を身につけさせること」は中学生と就学前・小学生・中学生以外の18歳未満の子どもがいる世帯で高い。

「いじめや少年犯罪などの問題から子どもたちを守ること」は就学前、小学生がいる世帯で高い。

		標本数(票)	子どもの教育に関して必要な連携や協力(%)											無回答	
			よい行い、悪い行いを判断する力を養うこと	美しいものに感動する心や生命を大切に育てること	集団生活や社会生活をおくる上で必要な基本的ルールを身につけること	働くことの意味に対する理解や社会貢献の精神を育てること	自分の考えを相手に伝え、互いに意思の疎通をはかりあうコミュニケーション能力を身につけさせること	自ら学ぶ意欲や主体的に行動することを身につけさせること	地域の自然や歴史・伝統に触れて、ふるさとを愛する気持ちを育てること	スポーツや文化芸術活動の指導を行うこと	登下校や学校以外の活動の場で子どもたちの安全を守ることで	いじめや少年犯罪などの問題から子どもたちを守ることで	(SNSなど)の適正な利用を身につけさせること		基礎や基本となる学力や学習習慣を身につけさせること
全体		1,758	65.4	43.3	65.0	26.5	55.3	38.9	17.6	14.6	36.2	46.7	43.0	34.5	2.7
性別	男性	755	67.5	39.7	64.2	27.8	52.7	39.9	19.6	17.1	33.1	42.9	40.0	31.4	2.9
	女性	984	63.5	45.9	66.0	25.7	57.4	37.9	16.5	12.7	38.3	49.5	45.3	36.7	2.6
	回答しない	15	73.3	46.7	33.3	13.3	46.7	60.0	0.0	13.3	60.0	53.3	53.3	53.3	0.0
年齢別	18～29歳	214	62.6	40.7	56.5	22.4	55.6	36.0	14.0	21.5	32.2	46.3	51.4	34.1	2.8
	30歳代	271	64.9	42.4	59.0	25.8	57.6	43.9	16.2	17.3	45.4	53.1	47.6	33.9	3.7
	40歳代	318	65.1	40.9	67.0	28.6	61.9	44.7	15.4	15.7	38.7	47.2	45.9	37.1	0.9
	50歳代	332	63.3	49.4	66.9	31.6	57.8	38.0	19.0	14.8	33.1	46.4	47.0	35.5	2.7
	60歳代	363	66.4	44.9	68.6	26.4	51.2	39.4	22.3	12.1	34.7	45.5	38.3	32.5	1.9
	70歳以上	249	69.5	40.2	68.7	22.1	46.6	30.1	17.3	8.4	34.1	42.6	29.3	34.5	4.8
ブロック別	東部A	128	64.1	39.8	65.6	21.9	51.6	38.3	15.6	11.7	29.7	39.1	33.6	25.0	3.9
	東部B(田主丸)	101	61.4	40.6	65.3	26.7	46.5	33.7	23.8	17.8	34.7	42.6	40.6	31.7	4.0
	北部A	155	63.9	42.6	61.9	25.2	54.8	40.0	17.4	16.8	38.7	49.7	40.0	35.5	3.9
	北部B(北野)	106	63.2	46.2	67.9	32.1	57.5	45.3	24.5	15.1	43.4	49.1	41.5	35.8	0.9
	中央東部	225	64.0	47.6	70.7	29.8	59.6	38.7	17.3	16.0	38.7	48.9	44.0	33.3	3.6
	南東部	171	67.3	41.5	68.4	24.0	54.4	34.5	15.8	12.9	35.7	49.1	39.8	33.9	2.3
	中央部	227	67.8	47.1	65.6	28.2	59.0	39.6	18.9	13.7	35.7	43.2	47.6	34.8	2.6
	中央南部	313	64.9	41.5	58.1	26.2	55.6	43.1	18.8	15.3	37.4	46.3	46.0	37.4	2.9
	南西部	157	69.4	43.3	61.8	24.8	53.5	38.2	14.0	14.6	36.9	51.0	43.9	37.6	2.5
	西部A(城島)	72	63.9	33.3	69.4	19.4	47.2	36.1	13.9	12.5	25.0	47.2	31.9	22.2	0.0
	西部B(三渚)	98	66.3	44.9	67.3	27.6	57.1	31.6	11.2	11.2	32.7	45.9	53.1	42.9	1.0
同居家族(M)	就学前の子どもがいる	208	67.8	42.8	65.9	26.4	59.6	38.9	14.9	14.9	55.8	62.5	48.1	38.9	2.4
	小学生がいる	206	65.5	40.8	66.5	25.7	59.7	42.7	16.0	17.0	45.6	54.4	47.6	41.7	3.4
	中学生がいる	152	63.2	44.1	65.1	25.7	65.1	45.4	15.1	18.4	43.4	50.0	53.3	36.2	2.0
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	166	61.4	42.2	64.5	31.3	59.6	42.2	14.5	13.9	34.3	46.4	53.0	31.9	2.4
	65歳以上の人がいる	658	66.7	43.6	67.6	27.4	52.6	38.0	18.1	12.8	32.7	45.9	41.5	35.4	2.3
	障害者手帳所持者がいる(本人含む)以上にあてはまる人はいない	190	66.3	40.5	63.7	25.8	45.3	35.8	16.8	14.2	30.0	44.7	39.5	33.2	2.1
	569	64.0	44.1	61.7	26.2	56.4	38.0	17.8	14.4	35.3	43.8	41.7	31.8	3.0	

6-3 小・中学校で特に力を入れてほしいこと

問 34 久留米市の小・中学校において、今後特に力を入れてほしいと思われるものはどれですか。
 (A) 小学校・(B) 中学校のそれぞれについて、次の中からあてはまるものを3つまで(2つ以内でもかまいません) 選び、番号に○印をつけてください。



●小・中学校ともに上位2項目は変わらないが、第3位には、小学校では「基礎的な体力を身につける教育」30.4%、中学校では「外国語を重視した国際化に対応できる教育」が25.7%が高い。

◆属性別特徴(小学校)

【性別】「食習慣や食に関する知識を身につける教育」「生命や人権を尊重する教育」などの割合は男性より女性で高く、男性は「働くことの意義を理解し、正しい勤労観を育てる教育」「スマートフォンやタブレットなどICT（情報通信技術）機器活用に関する教育」が女性に比べて高い。

【年齢別】「生命や人権を尊重する教育」は50歳代で5割以上と高い。

「基本的な社会のルールを身につける教育」は年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向にある。

【ブロック別】「基本的な社会のルールを身につける教育」は、南東部、中央部で高い。

「生命や人権を尊重する教育」は西部B（三瀧）、北部Aで高い。

【同居家族別】「基礎的な体力を身につける教育」は中学生以下の子どもがいる世帯で高い。

「外国語を重視した国際化に対応できる教育」は就学前の子どもがいる世帯で高い。

		標本数(票)	小学校で特に力を入れてほしいこと(%)																		
			基本的な社会のルールを身につける教育	基礎的な体力を身につける教育	理科や算数・数学などの科学教育	外国語を重視した国際化に対応できる教育	スマートフォンやタブレットなどICT（情報通信技術）機器活用に関する教育	インターネットの適正な利用に関する教育	生命や人権を尊重する教育	食習慣や食に関する知識を身につける教育	本に親しみ、読書習慣が定着する教育	働くことの意義を理解し、正しい勤労観を育てる教育	ボランティア活動など社会奉仕の心を育てる教育	地域の歴史や文化・伝統への興味と理解を深める教育	障害のある子どもの状態に応じたきめ細かな教育	進学や就職などの将来の進路を重視した教育	防災や安全に関する教育	資源の有効活用や省エネルギーなどの環境に関する教育	身体・性への適切な理解を深める教育	その他	無回答
全体		1,758	65.9	30.4	7.9	16.3	8.4	14.4	45.9	17.9	23.0	6.4	5.9	3.1	14.6	2.9	10.0	2.3	5.2	1.1	3.6
性別	男性	755	65.2	29.9	8.6	17.4	10.2	15.2	43.4	15.1	22.8	8.6	6.6	3.8	13.1	2.5	9.0	2.6	4.5	1.1	4.2
	女性	984	67.1	30.7	7.1	15.2	7.1	13.7	48.0	20.2	23.3	4.9	5.4	2.5	15.7	3.2	10.7	2.1	5.9	0.9	3.2
	回答しない	15	33.3	33.3	20.0	26.7	0.0	20.0	26.7	6.7	13.3	0.0	6.7	0.0	20.0	6.7	6.7	0.0	0.0	13.3	6.7
年齢別	18～29歳	214	57.0	29.0	9.8	20.1	8.9	19.6	38.8	15.4	24.3	6.5	4.2	2.8	17.8	5.1	8.9	1.4	6.1	1.4	2.8
	30歳代	271	61.3	32.1	8.5	17.7	9.6	15.9	45.8	18.8	22.9	4.4	5.5	3.3	14.4	3.3	14.8	3.0	8.5	2.6	4.4
	40歳代	318	66.0	34.9	11.0	17.9	9.4	15.4	46.5	12.9	22.0	6.6	4.4	1.9	13.8	5.3	10.1	1.9	6.9	0.9	2.2
	50歳代	332	69.0	30.7	3.6	16.6	7.8	15.7	50.6	19.3	23.2	6.6	5.4	4.8	14.2	1.8	8.7	2.4	2.1	0.9	3.3
	60歳代	363	72.5	27.0	7.7	12.1	6.9	12.7	48.2	19.8	22.0	8.5	7.7	3.0	13.2	1.4	9.1	2.5	4.4	0.6	4.1
	70歳以上	249	65.9	28.5	7.2	14.9	8.0	8.0	42.2	20.9	24.5	5.2	8.0	2.4	15.7	1.2	8.4	2.8	4.4	0.4	4.4
ブロック別	東部A	128	68.8	28.9	3.1	13.3	5.5	13.3	48.4	21.1	24.2	6.3	10.2	1.6	21.9	2.3	5.5	2.3	5.5	1.6	3.1
	東部B(田主丸)	101	62.4	32.7	9.9	12.9	9.9	13.9	46.5	14.9	23.8	7.9	6.9	5.0	6.9	3.0	9.9	2.0	3.0	3.0	4.0
	北部A	155	67.1	29.7	8.4	18.7	6.5	18.1	49.0	17.4	20.0	6.5	4.5	1.3	18.1	3.2	12.9	3.9	7.7	1.3	5.8
	北部B(北野)	106	69.8	26.4	7.5	21.7	11.3	13.2	44.3	18.9	22.6	1.9	3.8	2.8	16.0	0.9	12.3	2.8	2.8	0.0	0.9
	中央東部	225	67.1	31.1	8.9	16.4	7.1	15.6	45.3	14.2	24.9	7.6	8.0	3.1	10.2	4.0	10.7	3.1	4.4	1.8	4.0
	南東部	171	70.8	29.8	7.6	10.5	9.9	9.9	48.0	21.1	21.1	8.2	2.9	5.3	15.8	3.5	11.7	1.8	3.5	1.2	4.1
	中央部	227	70.0	26.0	7.5	15.9	12.8	16.3	47.1	16.7	23.8	6.2	4.0	2.6	12.8	2.6	8.4	1.8	4.8	0.0	3.5
	中央南部	313	57.2	32.3	8.0	19.2	7.7	13.4	45.0	16.9	22.4	6.7	7.3	2.6	16.9	3.2	9.3	1.9	4.8	1.3	3.8
	南西部	157	68.8	32.5	8.3	15.3	8.9	17.2	42.0	14.0	22.9	5.7	9.6	3.2	12.7	4.5	12.1	2.5	7.0	1.3	3.2
	西部A(城島)	72	69.4	34.7	11.1	20.8	2.8	4.2	37.5	23.6	27.8	4.2	2.8	5.6	15.3	0.0	8.3	2.8	5.6	0.0	1.4
西部B(三瀧)	98	58.2	32.7	7.1	14.3	7.1	19.4	50.0	24.5	19.4	7.1	1.0	3.1	13.3	1.0	8.2	1.0	10.2	0.0	4.1	
同居家族(M)	就学前の子どもがいる	208	64.4	34.6	11.1	23.1	8.7	17.8	46.6	19.2	26.9	4.8	5.3	2.4	13.9	5.3	12.0	4.3	9.1	2.4	1.9
	小学生がいる	206	63.6	37.4	17.5	18.0	9.7	15.0	44.7	16.5	31.1	6.8	5.8	1.9	16.0	5.8	11.2	3.4	7.8	1.0	2.4
	中学生がいる	152	61.8	35.5	18.4	19.1	9.2	15.1	40.8	11.8	27.0	5.9	2.6	1.3	14.5	4.6	9.2	1.3	6.6	0.0	3.3
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	166	69.3	27.7	12.0	21.1	13.9	14.5	47.6	13.3	25.9	9.0	6.6	3.6	13.9	4.2	10.2	2.4	5.4	0.0	3.6
	65歳以上の人がいる	658	67.6	31.2	7.8	14.7	8.4	12.6	46.4	19.3	21.9	8.1	7.1	4.0	12.0	1.8	9.0	1.7	3.6	1.4	3.3
	障害者手帳所持者がいる(本人含む)	190	66.8	30.0	10.5	13.2	7.4	10.5	41.6	16.3	22.1	8.4	3.7	2.1	24.2	1.6	8.9	2.1	4.2	1.1	3.2
	以上にあてはまる人はいない	569	66.3	27.2	6.3	16.0	7.7	16.3	47.5	18.3	21.4	6.0	5.6	2.3	16.5	2.3	10.0	2.6	4.9	0.5	4.2

◆属性別特徴(中学校)

【性別】「身体・性への適切な理解を深める教育」「食習慣や食に関する知識を身につける教育」などの割合は男性より女性で高く、男性は「基本的な社会のルールを身につける教育」「基礎的な体力を身につける教育」が女性に比べて高い。

【年齢別】「生命や人権を尊重する教育」は60歳代で高い。

「インターネットの適正な利用に関する教育」は18～29歳の若い世代で高い。

【ブロック別】「基本的な社会のルールを身につける教育」は、南西部、西部A(城島)で高い。

「生命や人権を尊重する教育」は北部B(北野)、南東部、西部B(三瀧)で高い。

【同居家族別】「インターネットの適正な利用に関する教育」は就学前・小学生・中学生以外の18歳未満の子どもがいる世帯で高い。

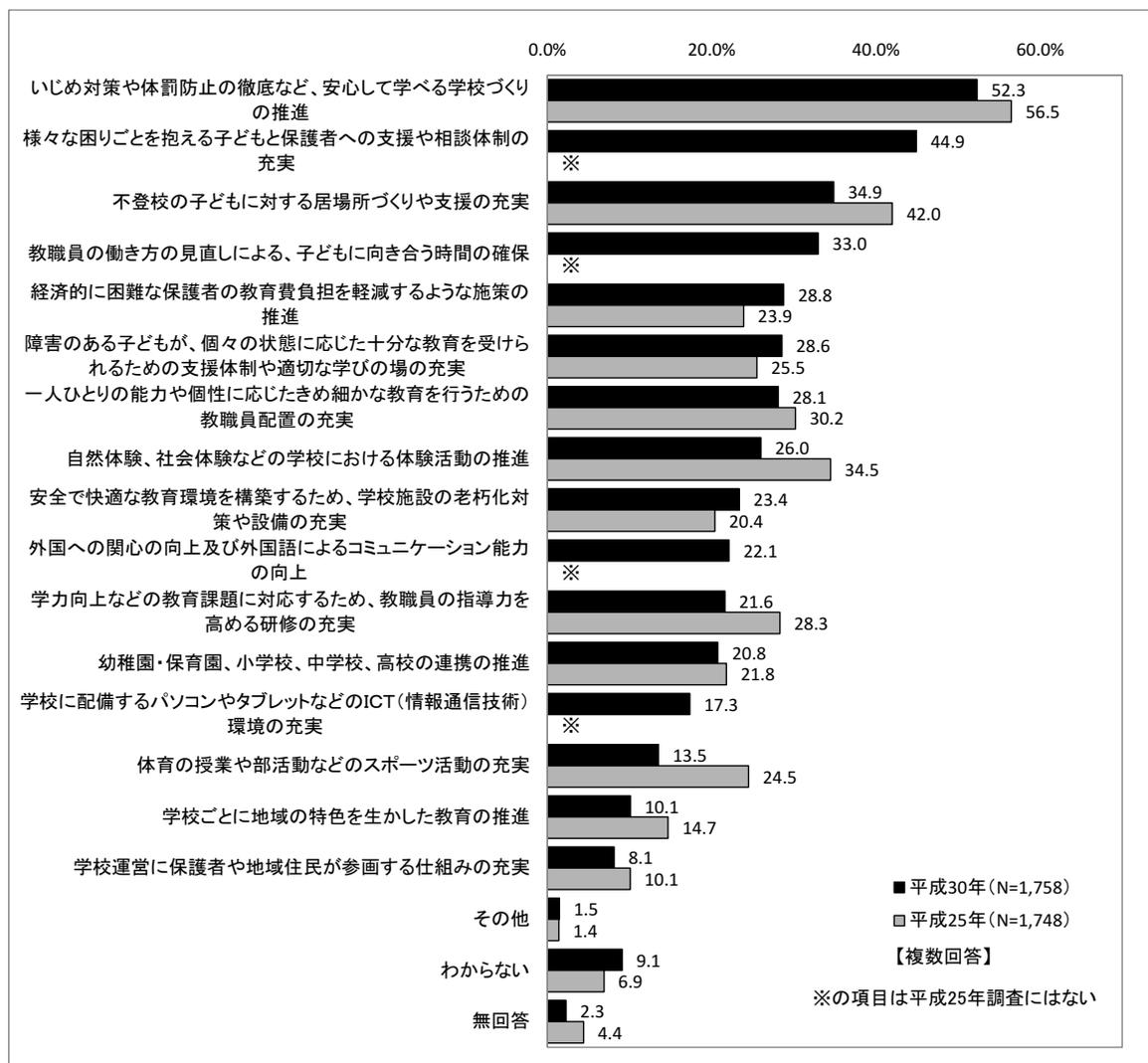
「外国語を重視した国際化に対応できる教育」は就学前の子どもがいる世帯で高い。

「身体・性への適切な理解を深める教育」は就学前の子ども、小学生がいる世帯で高い。

		標本数(票)	中学校で特に力を入れてほしいこと(%)																		
			基本的な社会のルールを身につける教育	基礎的な体力を身につける教育	理科や算数・数学などの科学教育	外国語を重視した国際化に対応できる教育	CT(情報通信技術)機器活用に関する教育	インターネットの適正な利用に関する教育	生命や人権を尊重する教育	食習慣や食に関する知識を身につける教育	本に親しみ、読書習慣が定着する教育	働くことの意義を理解し、正しい労働観を育てる教育	ボランティア活動など社会奉仕の心を育てる教育	地域の歴史や文化・伝統への興味と理解を深める教育	障害のある子どもの状態に応じたきめ細かな教育	進学や就職などの将来の進路を重視した教育	防災や安全に関する教育	資源の有効活用や省エネルギーなどの環境に関する教育	身体・性への適切な理解を深める教育	その他	無回答
全体		1,758	46.7	11.5	7.7	25.7	16.2	23.9	37.1	6.7	6.2	23.6	11.7	4.1	7.4	18.8	6.3	3.8	17.8	0.7	5.6
性別	男性	755	51.8	13.5	8.7	24.6	17.4	24.4	35.8	4.6	7.5	22.4	12.6	5.2	7.2	16.0	6.8	4.1	14.7	0.9	6.1
	女性	984	43.3	10.0	6.9	26.4	15.4	23.6	38.6	8.3	5.2	24.7	11.1	3.4	7.3	21.0	5.9	3.5	20.0	0.4	5.2
	回答しない	15	20.0	6.7	13.3	26.7	6.7	26.7	13.3	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	26.7	13.3	6.7	0.0	26.7	13.3	6.7
年齢別	18～29歳	214	41.6	11.2	7.9	24.3	21.0	35.5	22.0	7.9	5.6	22.4	4.2	3.7	8.9	26.2	5.6	5.1	20.6	0.9	4.7
	30歳代	271	39.1	10.0	8.9	25.5	18.8	22.9	29.5	5.2	5.5	24.4	5.9	4.1	8.5	24.4	8.5	2.2	28.0	1.5	8.1
	40歳代	318	49.4	14.2	10.4	28.3	17.0	24.8	40.3	6.6	5.3	25.8	10.7	2.8	6.9	20.1	7.5	3.5	17.0	0.9	2.5
	50歳代	332	49.1	9.3	7.5	25.3	16.0	25.9	39.8	9.3	6.6	26.2	18.7	5.7	8.1	18.1	5.1	3.3	11.4	0.6	3.9
	60歳代	363	48.5	11.0	5.8	27.0	13.2	19.8	45.5	5.5	5.5	22.6	13.8	3.3	6.3	13.2	5.2	3.3	17.6	0.3	6.9
	70歳以上	249	51.4	13.3	5.6	22.1	12.0	17.3	40.2	6.0	9.2	18.9	13.3	5.2	6.0	13.7	5.6	6.0	14.1	0.4	7.6
	ブロック別	東部A	128	41.4	8.6	3.9	22.7	15.6	30.5	39.1	10.2	7.8	24.2	13.3	4.7	6.3	18.0	7.8	3.1	15.6	0.8
東部B(田主丸)		101	41.6	13.9	5.0	34.7	18.8	16.8	33.7	6.9	5.0	18.8	15.8	4.0	7.9	16.8	5.9	2.0	13.9	1.0	5.9
北部A		155	49.7	11.0	12.3	25.2	18.7	26.5	32.9	6.5	5.8	23.2	13.5	1.9	12.3	19.4	8.4	5.8	19.4	0.0	6.5
北部B(北野)		106	48.1	9.4	4.7	27.4	20.8	22.6	42.5	7.5	7.5	24.5	10.4	4.7	6.6	18.9	6.6	2.8	18.9	0.9	1.9
中央東部		225	43.6	10.2	7.1	27.6	13.8	24.4	38.7	4.4	6.7	22.7	10.7	4.4	4.9	20.0	6.7	4.0	14.2	1.3	6.2
南東部		171	46.8	12.9	8.8	24.0	16.4	17.5	42.7	5.8	5.8	28.7	11.7	5.8	5.8	22.8	5.8	4.1	18.1	0.6	4.1
中央部		227	46.3	11.0	9.7	25.6	16.7	29.1	33.9	5.3	5.7	27.3	13.7	4.0	5.7	16.3	3.5	4.8	20.3	0.0	4.8
中央南部		313	49.2	12.5	8.3	24.0	14.7	25.2	34.5	6.4	6.1	24.6	11.5	2.9	8.3	18.2	6.7	3.2	18.2	1.3	5.4
南西部		157	50.3	10.8	7.0	25.5	8.3	19.7	36.3	5.1	5.7	20.4	9.6	5.7	8.9	15.9	7.0	3.2	23.6	1.3	8.9
西部A(城島)		72	50.0	16.7	6.9	25.0	25.0	25.0	29.2	13.9	5.6	6.9	9.7	6.9	11.1	18.1	5.6	2.8	11.1	0.0	4.2
西部B(三瀧)	98	45.9	10.2	6.1	26.5	19.4	19.4	50.0	9.2	6.1	24.5	5.1	2.0	6.1	24.5	5.1	4.1	18.4	0.0	5.1	
同居家族(M)	就学前の子どもがいる	208	38.9	9.6	10.6	33.7	20.2	24.0	30.8	7.7	3.4	25.0	6.7	4.3	8.7	20.7	5.3	3.8	26.9	1.4	6.7
	小学生がいる	206	41.7	13.1	14.1	26.2	20.9	22.3	32.5	5.3	4.9	24.3	12.6	4.4	8.7	26.7	3.9	3.9	26.7	0.5	8.3
	中学生がいる	152	46.7	13.2	14.5	28.3	23.0	27.6	40.8	3.3	7.2	19.1	9.2	3.9	11.2	25.7	3.3	2.6	14.5	0.0	2.6
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	166	47.6	10.8	9.6	28.9	24.7	30.7	41.6	6.6	5.4	26.5	10.8	3.6	7.2	25.3	4.8	4.2	13.9	0.6	3.6
	65歳以上の人がいる	658	46.4	12.0	7.3	25.1	14.4	21.3	39.5	7.6	5.3	23.7	14.4	4.1	4.9	17.6	6.1	3.0	14.9	1.1	5.6
障害者手帳所持者がいる(本人含む)	190	39.5	13.2	7.4	25.3	14.2	18.9	35.8	9.5	6.3	21.6	10.0	5.8	13.7	16.8	5.3	4.7	17.4	1.1	6.3	
以上にあてはまる人はいない	569	50.1	10.7	4.9	24.6	16.3	25.7	38.3	5.8	7.0	22.8	11.1	3.7	8.1	16.9	7.0	5.3	17.9	0.4	5.3	

6-4 教育行政に期待すること

問 35 あなたは、久留米市の教育行政に関してどのようなことを期待しますか。
(あてはまる番号にいくつでも○印)



●教育行政に期待することでは「いじめ対策や体罰防止の徹底など、安心して学べる学校づくりの推進」が52.3%。

◆属性別特徴

【性別】「体育の授業や部活動などのスポーツ活動の充実」「学校に配備するパソコンやタブレットなどのICT(情報通信技術)環境の充実」などの割合は女性より男性で高く、女性は「不登校の子どもに対する居場所づくりや支援の充実」「様々な困りごとを抱える子どもと保護者への支援や相談体制の充実」「いじめ対策や体罰防止の徹底など、安心して学べる学校づくりの推進」が男性に比べて高い。

【年齢別】「いじめ対策や体罰防止の徹底など、安心して学べる学校づくりの推進」は60歳代以上で高い。

「幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校の連携の推進」は30～40歳代で高い。

【ブロック別】「教職員の働き方の見直しによる、子どもに向き合う時間の確保」は、北部B（北野）で高い。

「一人ひとりの能力や個性に応じたきめ細かな教育を行うための教職員配置の充実」は西部B（三瀧）で高い。

【同居家族別】「外国への関心の向上及び外国語によるコミュニケーション能力の向上」「教職員の働き方の見直しによる、子どもに向き合う時間の確保」は中学生、就学前・小学生・中学生以外の18歳未満の子どもがいる世帯で高い。

「安全で快適な教育環境を構築するため、学校施設の老朽化対策や設備の充実」は就学前、小学生がいる世帯で高い。

	標本数(票)	教育行政に期待すること(%)																			
		様々な困りごとを抱える子どもと保護者への支援や相談体制の充実	学力向上などの教育課題に対応するための教職員の指導力を高めるための充実	外国への関心の向上及び外国語によるコミュニケーション能力の向上	学校に配備するパソコンやタブレットなどのICT(情報通信技術)環境の充実	いじめ対策や体罰防止の徹底など、安心して学べる学校づくりの推進	不登校の子どもに対する居場所づくりや支援の充実	経済的に困難な保護者の教育費負担を軽減するような施策の推進	教職員の働き方の見直しによる、子どもに向き合う時間の確保	障害のある子どもが、個々の状態に応じた十分な教育を受けられるための支援体制や適切な学びの場の充実	一人ひとりの能力や個性に応じたきめ細かな教育を行うための充実	安全で快適な教育環境を構築するための充実	体育の授業や部活動などのスポーツ活動の充実	自然体験、社会体験などの学校における体験活動の推進	学校運営に保護者や地域住民が参画する仕組みの充実	学校ごとに地域の特色を生かした教育の推進	幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校の連携の推進	その他	わからない	無回答	
全体	1,758	44.9	21.6	22.1	17.3	52.3	34.9	28.8	33.0	28.6	28.1	23.4	13.5	26.0	8.1	10.1	20.8	1.5	9.1	2.3	
性別	男性	755	41.2	22.5	21.2	19.7	49.8	30.7	27.9	33.9	26.6	26.9	21.6	16.2	26.6	9.1	11.0	20.1	2.1	10.2	2.5
	女性	984	47.6	20.9	22.8	15.7	54.1	38.0	29.1	32.3	30.1	29.1	24.5	11.5	25.6	7.3	9.5	21.3	1.0	8.0	2.0
	回答しない	15	60.0	26.7	33.3	13.3	66.7	40.0	46.7	33.3	33.3	33.3	40.0	13.3	20.0	13.3	13.3	13.3	0.0	26.7	0.0
年齢別	18～29歳	214	40.7	18.7	23.8	17.8	42.1	28.5	32.2	28.0	23.8	27.6	17.8	16.8	26.6	8.4	9.3	17.8	1.4	12.6	0.5
	30歳代	271	46.5	21.0	25.1	19.9	50.2	38.7	29.5	28.4	30.6	31.0	31.7	19.6	27.3	7.7	14.4	27.3	1.8	11.1	1.8
	40歳代	318	43.7	23.3	27.4	19.5	47.2	38.1	28.0	34.3	26.1	33.3	26.4	14.2	27.0	7.2	9.7	29.6	1.3	6.6	0.9
	50歳代	332	47.9	21.4	19.9	16.3	53.0	36.1	30.4	38.6	31.6	31.3	19.9	13.6	27.7	7.8	10.2	24.4	2.1	8.1	0.9
	60歳代	363	46.8	20.7	18.7	17.4	60.1	31.7	26.7	35.0	30.0	24.5	25.6	10.5	26.7	9.4	9.9	14.6	0.8	7.7	3.0
	70歳以上	249	42.6	24.1	19.3	13.3	57.8	35.3	27.7	30.5	27.7	20.9	17.3	8.0	20.5	8.0	7.2	9.6	1.2	10.8	6.0
	ブロック別	東部A	128	43.0	18.0	25.0	13.3	50.0	31.3	23.4	27.3	24.2	21.1	26.6	12.5	25.8	7.0	8.6	17.2	0.0	13.3
東部B(田主丸)		101	42.6	22.8	18.8	21.8	48.5	32.7	30.7	28.7	26.7	32.7	21.8	10.9	25.7	6.9	12.9	23.8	2.0	5.0	5.0
北部A		155	44.5	23.9	15.5	15.5	52.3	31.6	31.6	21.3	28.4	25.8	23.2	12.9	24.5	6.5	12.3	20.6	0.6	11.6	2.6
北部B(北野)		106	45.3	29.2	24.5	16.0	51.9	31.1	27.4	42.5	29.2	30.2	19.8	14.2	22.6	5.7	6.6	22.6	0.9	12.3	0.9
中央東部		225	48.0	23.1	22.7	17.3	51.1	38.7	28.9	33.3	31.6	28.9	25.3	14.2	30.7	11.1	11.1	23.1	2.7	10.2	1.3
南東部		171	39.8	21.1	23.4	14.6	55.6	35.1	25.7	33.9	25.1	27.5	19.9	12.3	25.1	7.6	2.9	22.2	1.8	7.6	1.2
中央部		227	44.1	22.0	23.3	19.8	53.7	31.3	32.6	39.6	26.0	30.4	24.7	13.2	27.8	12.3	15.0	21.1	0.9	9.3	3.5
中央南部		313	47.0	21.1	20.8	18.5	53.4	37.7	30.4	35.1	32.6	26.8	25.9	13.1	22.4	7.7	10.2	20.8	2.6	6.4	1.9
南西部		157	45.9	19.7	23.6	14.0	53.5	38.9	30.6	33.1	31.8	28.7	22.3	16.6	26.8	6.4	8.9	17.8	1.3	10.2	1.3
西部A(城島)		72	43.1	15.3	23.6	18.1	45.8	30.6	20.8	18.1	22.2	22.2	18.1	11.1	25.0	6.9	12.5	12.5	0.0	13.9	2.8
西部B(三瀧)	98	46.9	20.4	25.5	21.4	53.1	37.8	25.5	39.8	26.5	34.7	21.4	16.3	29.6	6.1	9.2	23.5	1.0	4.1	0.0	
同居家族(M)	就学前の子どもがいる	208	49.0	21.2	27.9	21.2	55.8	38.9	28.4	30.3	30.8	33.2	33.7	21.6	37.5	7.7	13.5	35.1	1.0	4.3	1.4
	小学生がいる	206	43.2	30.1	27.2	22.3	51.5	36.9	27.2	33.0	30.1	34.0	38.8	19.4	33.5	8.3	14.6	32.0	1.5	3.4	1.5
	中学生がいる	152	42.1	37.5	32.9	25.0	49.3	38.2	33.6	42.1	27.6	39.5	32.2	20.4	30.3	8.6	12.5	32.9	0.7	3.9	0.7
	上記以外の18歳未満の子どもがいる	166	44.0	35.5	31.3	21.1	46.4	32.5	28.9	42.2	28.3	37.3	24.1	17.5	27.1	7.2	8.4	27.1	1.8	4.2	0.6
	65歳以上の人がいる	658	44.8	22.6	20.7	18.2	54.9	33.4	26.7	35.4	26.7	28.6	19.5	12.0	26.0	7.4	10.9	17.2	1.5	9.3	2.0
	障害者手帳所持者がいる(本人含む)以上にあてはまる人はいない	190	50.5	23.7	17.4	19.5	49.5	34.7	32.1	28.4	33.2	28.4	22.1	12.1	22.1	7.9	11.6	18.4	0.0	12.1	3.2
569	46.0	16.9	20.6	13.7	50.3	36.0	30.6	31.5	28.8	24.8	21.3	11.2	23.6	8.6	7.9	17.0	1.6	10.0	3.0		

考 察 一 教 育 一

子どもたちをとりまく環境の問題点としては、「大人のモラルが低下している」が 48.2%で最も高く、「スマートフォンやインターネットの使用（SNS など）が悪い影響を与えている」46.6%、「経済的な要因により、子どもたちの間に様々な格差が生じている」37.4%、「いじめなど、子どもたちの人間関係づくりに問題がある」34.0%、「子ども同士で遊ぶことが少なくなっている」33.5%、「家族と過ごす時間が少なくなっている」33.2%、「周囲の大人が地域ぐるみで子育てに関わる機会が少なくなっている」31.6%などが高くなっている。

平成 25 年調査と比較すると、「いじめなど、子どもたちの人間関係づくりに問題がある」「周囲の大人が地域ぐるみで子育てに関わる機会が少なくなっている」「テレビやゲームが悪い影響を与えている」「学校の先生たちが子どもたちをしっかりと指導できていない」「保護者が子育てやしつけに自信を失っている」の 5 つの項目は 10 ポイント以上と大幅に値を下げた。また、「大人のモラルが低下している」「子どもの数が減少し、保護者が子どもに力をかけすぎている」も 5 ポイント以上減少しており、全体的に回答率が低下した項目が多くみられる。一方、前回より回答率が上昇した、またはあまり変化がみられなかった項目は、「スマートフォンやインターネットの使用（SNS など）が悪い影響を与えている」「子ども同士で遊ぶことが少なくなっている」「家族と過ごす時間が少なくなっている」などで、また、今回新たに設けた「経済的な要因により、子どもたちの間に様々な格差が生じている」「学校の先生が忙しすぎて、子どもと向き合う時間が少なくなっている」も、比較的高い値を示している。

総じて、子ども同士や親を含む周囲の大人との人間関係や関わりについては、問題だとの認識は低下しているようであり、一方で経済的な格差や子どもと親や教師、子ども同士が接する時間の不足など、物理的、経済的なゆとりの無さが問題視される傾向がみてとれる。また、テレビやゲームの影響力よりも、インターネット等の利用に対する懸念が高まっているようである。

また、回答者の家族の状況によって認識に差がみられ、世帯の中に小学生がいる人では「家族と過ごす時間が少なくなっている」「経済的な要因により、子どもたちの間に様々な格差が生じている」「子ども同士で遊ぶことが少なくなっている」「テレビやゲームが悪い影響を与えている」など、家族や子ども同士が関わる機会の不足や、テレビ、ゲームに影響を問題視する回答が多くみられるが、中学生以上の子どもがいる人では「学校の先生が忙しすぎて、子どもと向き合う時間が少なくなっている」「学校の先生が子どもたちをしっかりと指導できていない」「学力が低下している」など先生との関係や学力に関する項目や、「スマートフォンやインターネットの使用（SNS など）が悪い影響を与えている」「夜更かしをするなど十分な睡眠時間を取っていない」など、生活習慣に関する項目が高くなっている。一方、「いじめなど、子どもたちの人間関係づくりに問題がある」は小中学生の子どもがいる人でやや低くなっている。

以上のことから、生活習慣、学力、メディア等の利用、周囲の大人とのかかわりなど、子どもの年齢によってさまざまな課題があり、それらへのきめ細かな対応が求められるが、そのためには保護者や教職員にも時間的、精神的な余裕が必要であり、また保護者の余裕の無さの背景には経済的な問題による家庭環境の問題などがある場合も多く、多面的な支援が必要である。久留米市では現在、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの全校配置や、生徒指導サポーターや校内適応指導教室など教育支援に取り組んでいるが、これらの支援のさらなる拡充が望まれる。

また子どもの教育に関する学校・家庭・地域の連携や協力は、今後ますます必要とされることである。そこで、学校・家庭・地域の連携が必要だと思うことについてたずねたところ、「よい行い、悪い行

いを判断する力を養うこと」「集団生活や社会生活を送る上で必要な基本的ルールを身につけさせること」がともに6割を超えて高く、善悪の判断や社会のルールを学ぶことについての連携・協力が特に求められているようである。また、久留米市では地域の人材や学生等からなるボランティアによる学習支援を行っているが、これに関連する「基礎や基本となる学力や学習習慣を身につけること」は、約3人に1人が必要だとしているものの、順位としては第9位と低い。ボランティアによる学習支援は学習習慣の定着などにつながると思われるが、継続的・安定的に支援を行うには多くの市民の協力が必要である。事業の周知と市民への理解を促進することが望まれる。

同居家族別にみると、世帯に小学生がいる人では「登下校や学校以外の活動の場で子どもたちの安全を守ること」「いじめや少年犯罪などの問題から子どもたちを守ること」「基礎や基本となる学力や学習習慣を身につけさせること」など、子どもの安全確保や学習に関する要請が高くなっている。また、中学生がいる人では、「自分の考えを相手に伝え、互いに意思の疎通をはかりあうコミュニケーション能力を身につけさせること」「自ら学ぶ意欲や主体的に行動する力を身につけさせること」「登下校や学校以外の活動の場で子どもたちの安全を守ること」「スマートフォンやインターネット（SNSなど）の適正な利用を身につけさせること」などが高く、主体的にコミュニケーションをしたり行動したりすることや、学校外での安全確保、インターネット等の適正利用になどの希望が高い。現時点で初等中等教育段階の子どもがいる人では、ルールや社会性を身につけることに加え、より具体的な課題など様々な場面で学校・家庭・地域の連携・協力が望まれているといえる。

また、就学前の子どもがいる人では「登下校や学校以外の活動の場で子どもたちの安全を守ること」「いじめや少年犯罪などの問題から子どもたちを守ること」が目立って高くなっており、子どもだけで行動する機会が増える就学後の安全面についての要請が高くなっている。見守りボランティアや危険箇所の確認など、地域住民の協力による安全対策を進めるとともに、就学前の子どもをもつ保護者が学校や市が実施している安全対策や子どもの学校での過ごし方について知る機会を設けるなど、就学前からの連携も必要ではないか。

次に、小・中学校で今後特に力を入れてほしいことについてみてみる。まず、小学校に対しては、「基本的な社会のルールを身につける教育」が65.9%で第1位であり、第2位が「生命や人権を尊重する教育」、第3位が「基礎的な体力を身につける教育」、第4位が「本に親しみ、読書週間が定着する教育」、第5位が「食習慣や食に関する知識を身につける教育」となっている。

中学校では、第1位と第2位は小学校と同じだが、第3位が「外国語を重視した国際化に対応できる教育」、第4位が「インターネットの適正な利用に関する教育」、第5位が「働くことの意義を理解し、正しい勤労観を育てる教育」、第6位が「進学や就職などの将来の進路を重視した教育」となっている。

小中学校ともに社会規範や人権意識を身につける教育が望まれているが、それ以外では小学校に対しては基礎的な体力や生活習慣についての教育が、中学校では国際化や情報化への対応、職業選択や進路に関わる教育が求められている。

小学校で力を入れてほしいことについて同居家族別にみると、小学生がいる人では「基礎的な体力を身につける教育」「理科や算数・数学などの科学教育」「本に親しみ、読書週間が定着する教育」など、基礎的な力を身につける教育への要望が比較的高い。また、中学生の子どもがいる人でもこの3項目がやや高くなっている。

中学校で力を入れてほしいこととしては、まず世帯に中学生がいる人では「理科や算数・数学などの科学教育」「スマートフォンやタブレットなどICT（情報通信技術）機器活用に関する教育」「インター

ネットの適正な利用に関する教育」「進学や就職などの将来の進路を重視した教育」がやや高く、メディア教育や進路に関する教育への要望が高い。また、理科や数学などの教育も小学校同様に求められている。小学生がいる人では、「理科や算数・数学などの科学教育」「進学や就職などの将来の進路を重視した教育」「身体・性への適切な理解を深める教育」が比較的高くなっている。

久留米市の教育行政に期待することでは、「いじめ対策や体罰防止の徹底など安心して学べる学校づくりの推進」52.3%、「様々な困りごとを抱える子どもと保護者への支援や相談体制の充実」44.9%、「不登校の子どもに対する居場所づくりや支援の充実」34.9%、「教職員の働き方の見直しによる、子どもに向き合う時間の確保」33.0%、「経済的に困難な保護者の教育費負担を軽減するような施策の推進」28.8%、「障害のある子どもが、個々の状態に応じた十分な教育を受けられるための支援体制や適切な学びの場の充実」28.6%、「一人ひとりの能力や個性に応じたきめ細かな教育を行うための教職員配置の充実」28.1%などが上位となっている。経済的困難や不登校など様々な困難を抱える子どもと保護者への支援や配慮、教職員の働き方や人員配置の充実が特に重視されている。教職員のほかスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど多様なスタッフを活用した支援の充実が必要となっている中、現場スタッフの負担が過重にならないよう体制の強化が望まれる。

各項目について同居家族別でみると、「一人ひとりの能力や個性に応じたきめ細かな教育を行うための教職員配置の充実」は18歳以下の子どもがいる人で、「学力向上などの教育課題に対応するため、教職員の指導力を高める研修の充実」は小学生から18歳以下の子どもがいる人で高く、教職員の指導力向上やきめ細かな教育のための人員配置は、初等中等教育段階の子どもがいる人からのニーズが特に高い。また、「教職員の働き方の見直しによる、子どもに向き合う時間の確保」は中学生から18歳以下の中等教育段階の子どもがいる人で高い。また、「安全で快適な教育環境を構築するため、学校施設の老朽化対策や設備の充実」「幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校の連携の推進」は就学前から中学生の子どもがいる人で高い。就学、進学前の保護者は子どもの安全や人間関係、学習についてなど様々な不安を感じるだろうが、幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校の連携を進めることで、このような不安の解消にもつながると思われる。教職員がゆとりをもって一人ひとりの児童生徒と向き合い、また地域や他の学校との連携を深められるよう、働き方の見直しや人員配置の拡充が喫緊の課題である。

(分析者 武藤桐子)